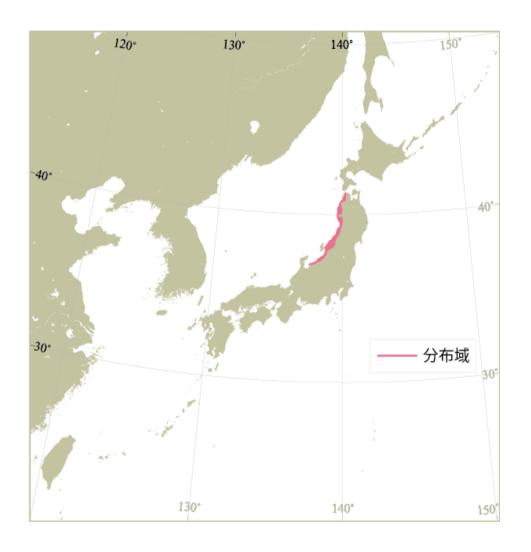


マガレイ日本海系群 令和5年度資源評価結果

生物学的特性



生物学的特性

■ 寿命:雄7歳、雌10歳

■ 成熟開始年齢: 雄2歳(割合不明)、3歳(100%) 雌3歳(70%)、4歳(100%)

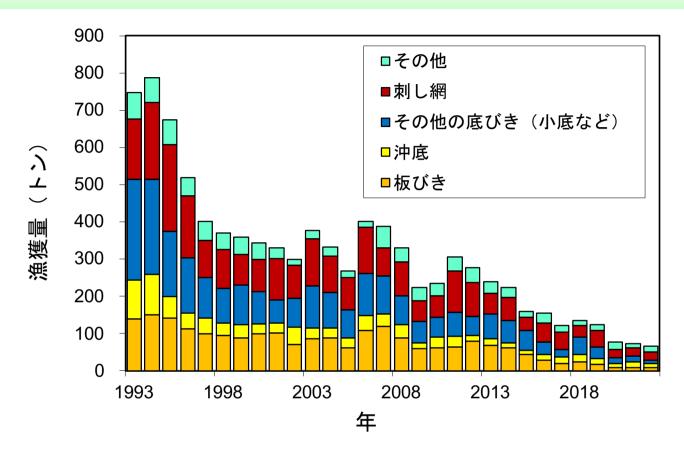
■ 産卵期・産卵場: 青森県沖2~4月、新潟県沿岸2~5 月(盛期は3~4月)

■ 食性: 多毛類、二枚貝、小型甲殼類

■ 捕食者:不明

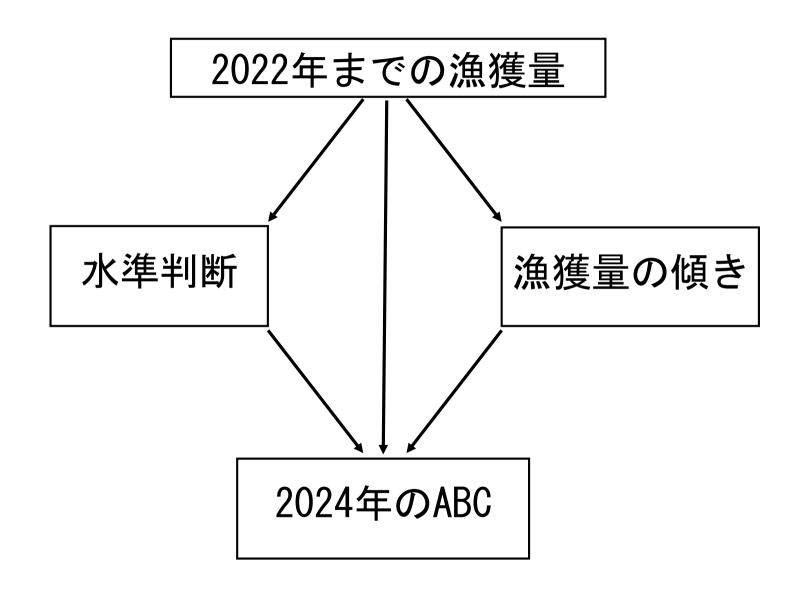
● ほぼ周年漁獲されるが、春季に漁獲量が多い

漁獲の動向

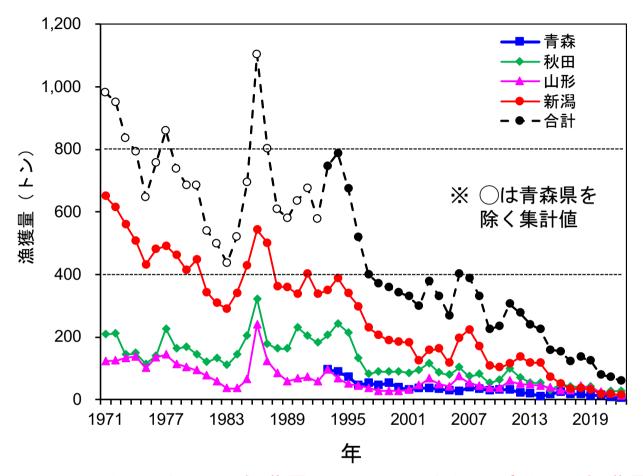


- 漁獲統計が揃った1993年以降では、漁獲量は1994年の787 トンをピークに減少傾向、2022年には60トン
- 2022年の漁業種類別では、底びき網全体が50%、刺し網が37%
- 沿岸域で主に底びき網と刺し網によって漁獲
- ※小型底びき網漁業(小底)、沖合底びき網漁業(沖底)、板びき:小底の1漁法

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位/中位:漁獲量400トン、中位/高位:漁獲量800トン (1971~2022年の各県合計漁獲量の最大値に近い1,200トンを3等分して判断)

● 資源水準:2022年の漁獲量60トンから「低位」

● 資源動向:直近5年間(2018~2022年)の漁獲量の推移 から「減少」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「低位」、動向は「減少」
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2024年ABC

管理基準	Target/ Limit	2024年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値
0.7·Cave 3-yr·0.86	Target	40	_	_
	Limit	50	<u> </u>	<u> </u>

- ABC算定規則の2-2)により、ABClimit= δ_2 ・Ct・ γ_2 で計算
- δ₂: 0.7 (低位水準での推奨値)
- Ct: Cave 3-yr (直近3年間 (2020~2022年) の平均漁獲量)
- γ₂: 0.86 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均値から算出)